

勤めて仏の教を学びむことを求め法を弘め物を利けて

命終る時に臨み異しき表を示す縁 第二十二

故道照法師は、船氏、河内国の人なり。勅を奉りて仏の法を大唐に求め、玄奘三蔵に遇ひて弟子に為る。三蔵弟子に語りて曰はく「是の人還来らば多くの人を化へむ。汝等輕することなかれ。能く供給るべし」とのたまふ。業成りて後に此の土に到り、禪院寺を造りて止住る。時に戒の珠玷くること無く、知の鑑恒に耀る。遍く諸の方に遊びて法を弘め物を化へ、遂に禪院に住りて、諸の弟子の為に請ひし所の衆の經の要義を演暢ふ。命終る時に臨み、洗浴みて衣を易へ、西に向ひて端坐す。光明室に遍し。時に目を開き、弟子知調を召していはく「汝光を見るやいなや」といふ。答へて言はく「已に見つ」といふ。

法師誠めて曰はく「妄に宣べ伝ふることなかれ」といふ。すなはち後夜に、光房より出で、寺の庭の松の樹に施耀り、良久にありてすなはち光西を指して飛び行く。弟子等驚き怪びずといふことなし。大徳西に面ひ端坐して、卒なむとする時なり。定めて知る、かならず極樂淨土に生れむことを。賛に曰はく「船氏の明徳、遠く法藏を求む。是れ聖なり。凡にあらず。終に没にて光を放つ」といふ。

第二十二縁 あやしき表(い)の説話。今昔物語集・十一ノ四に書承。

二「故」は故人に冠する接頭辞。本書でこれが冠せられているのは本説話の道照と上巻二十五縁の大神高市万侶。三「道昭」とも(書紀)。文武天皇四年(七〇〇)歿。七十二歳。統紀・文武天皇四年三月十日条に伝がある。三孝徳天皇の白雉四年(六五五)入唐(統紀)。書紀・白雉四年五月十二日条に、学問僧として道昭がみえる。四麟徳元年(六八〇)歿。冥詳の大唐故三蔵玄奘法師行状、慧立本と彦惊の大唐大慈恩寺三蔵法師伝が、その伝として著名。五統紀に「於後随使帰朝」とある。齊明天皇七年(六二二)帰朝か。

六「於元興寺東南隅、別建禪院而住焉」(統紀)、「禪院寺者、遣唐留学僧道照、還此之後、壬戌年三月、創建於本元興寺東南隅、和銅四年八月移建平城京也」(三代実録・元慶元年十

二月十六日条)。壬戌年は六六二年。七持戒にすぐれている。「持戒清潔、如淨明珠」(妙法蓮華經・譬喻品)、「戒珠離缺」(梁簡文帝の智信法師墓誌銘)。八知恵のはたらきが十分に發揮されている。底本訓釈「鑑(照也)」は誤釈。九「和尚周遊、凡十有余載、有勅請還、還住禪院」(統紀)。一〇道照が大唐より請来したさまざまな経。「此院多有経論、書迹皆好、並不錯誤、皆和上之所將來者也」(統紀)。一一「臨命終時」(阿弥陀經)。一二極樂は西方にあるとされた。「從是西方、過十万億仏土、有世界、名曰極樂」(阿弥陀經)。一三未詳。本説話以外に所伝をみない。

一不思議なことは後夜におきる。上巻三縁、十二縁など。

二阿弥陀仏の国土。「極樂淨土」という熟語はめづらしい。元曉の遊心安樂道にみえる一例が比較的古い例(藤田宏達)。

三蔵、光、に押韻をこころみている。

四類似の奇瑞をあらわした願覚が「聖反化」とされている(上巻四縁)。

勤¹求^レ学^ニ弘^ニ教^ニ弘^ニ法^ニ利^ニ物^ニ臨^ニ命^ニ終^ニ時^ニ示^ニ異^ニ表^ニ縁^ニ第^ニ廿^ニ一^ニ

故道照法師者、船氏、河内国人也、奉^レ勅求^ニ弘^ニ法^ニ於^ニ大^ニ唐^ニ、遇^ニ玄^ニ奘^ニ三^ニ藏^ニ、而為^ニ弟^ニ子^ニ、三藏語^ニ弟^ニ子^ニ曰、是人還來、將^ニ化^ニ多^ニ人^ニ、汝等莫^ニ輕^ニ、可^ニ能^ニ供^ニ給^ニ、業成之後、到^ニ此^ニ土^ニ、造^ニ禪院寺^ニ、而止住焉、時戒珠無^ニ玷^ニ、知鑑恒耀、遍遊^ニ諸^ニ方^ニ、弘^ニ法^ニ化^ニ物^ニ、遂住^ニ禪^ニ院^ニ、為^ニ諸^ニ弟子^ニ、演^ニ暢^ニ所^ニ請^ニ衆^ニ經^ニ要^ニ義^ニ、臨^ニ命^ニ終^ニ時^ニ、洗^ニ浴^ニ易^ニ衣^ニ、向^ニ西^ニ端^ニ坐^ニ、光^ニ明^ニ遍^ニ室^ニ、于^ニ時^ニ開^ニ目^ニ、召^ニ弟^ニ子^ニ知^ニ調^ニ、汝見^ニ光^ニ不^ニ、答^ニ言^ニ已^ニ見^ニ、法^ニ師^ニ誠^ニ曰^ニ、勿^ニ妄^ニ宣^ニ伝^ニ、即^ニ後^ニ夜^ニ、光^ニ自^ニ房^ニ出^ニ、施^ニ耀^ニ寺庭^ニ松^ニ樹^ニ、良久乃光指^ニ西^ニ飛^ニ行^ニ、弟^ニ子^ニ等^ニ、莫^ニ不^ニ驚^ニ怪^ニ、大^ニ德^ニ西^ニ面^ニ端^ニ坐^ニ、応^ニ卒^ニ時^ニ焉^ニ、定^ニ知^ニ、必生^ニ極^ニ樂^ニ淨^ニ土^ニ、贊^ニ曰^ニ、船^ニ氏^ニ明^ニ德^ニ、遠^ニ求^ニ法^ニ藏^ニ、是^ニ聖^ニ非^ニ凡^ニ、終^ニ沒^ニ放^ニ光^ニ、

1 勤(国)―勸
2 弘(国)―ナシ
3 奘(国)〔奘〕―裝
4 来(国)―更
5 土(国)―直
6 戒(国)―步
7 玷(国)―沾
8 經―維
9 見(国)―ナシ
10 誠(国)―誠
11 自(国)―目
12 施(国)―陀
13 等(国)―示
14 面(国)―フメイ
15 卒時(国)〔時〕―卒

16 船(国)―ナシ
17 終(国)―ナシ